

【テーマ】

自分らしく生きられる地域になるには？

地方から都市部への人口流出による人口減少や少子高齢化の進行が大きな課題である一方、地元に戻ってきたり、新しくこの地域に移り住む方々がいらっしやいます。「ここに住んでよかった」「ここに住み続けよう」と思えるには「自分らしく生きられる」ことも大事です。自分らしく生きられる地域はどんな場所でしょうか？

グループ ①

大学生① 「自分らしく」の対義語を考えると、「他人に引く張られる」だとか「社会の空気感に同調する、飲まれてしまう」ということだと思います。性別・人種そういった個人の属性に対する偏見をなくすことが大事なのかなって。偏見やステレオタイプのようなものをなくしていけば、自分らしく生きられるということに少しでも近づけるのかな。それこそ今日のように、自分の人生や社会に対して思っていることや、それにまつわる悩みや自分の想いを気軽に共有できる場所が

たくさんあれば、住み心地がいい、息苦しくない社会になると思っています。私も都会に出て行ってしまった身なんですが、都会に出たことで、人に縛られない、選び取っていきける人生があることを知りました。地方だとそもそもリソースが限られるということもありますが、レールが敷かれているというか、たとえば親にも「帰ってきたら公務員になるの？」とか「せつかくいい大学行ったんだから、いい職業に就いて、いっぱいお金稼いで」みたいな話も言われるんです。だからこそ自分の想いをちゃんと発露できる場があるだけで

もすごく救われる気がしますし、それが都会に出ていくということのまたひとつの意味でもあるんですが。自分の家庭でも学校でもない、知らない人・初対面の人に囲まれた空間でもできるということが大事なのかな。サードプレイスのな場所がひとつでもあれば、いい空気が吸えるのかなって気がします。

高校生① 「自分らしく」というのが、私もまだ社会に触れていないので、あまりわからないです。親の転勤であちこちに移動して、その分、周りの人が替わるという経験は何度もありました。そうするうちにだんだんと学んでくることがあって、始めは猫かぶって、後から素の自分を出すと「なんか最初の印象と違うね」となってしまふ。だったら最初からこのままの自分で行こうって考えるようになりました。この先はどうなるかわからないけれど、仕事は仕事、それでも曲げないところは曲げない、柔軟にできることは柔軟に、自

分らしさを捨てずにやっていけたらなと思います。

グループ ②

大学生① 私は地元が大好きですが、人口減少・少子高齢化が進んでいる地域でもあります。「こんなところ早く出てきたい」「東京行きたい」という声もあるんですけど、私は地方の穏やかな空気感が好きだし、東京に来てその思いが一層強まりました。たとえば空気がだったり水だったり、そういう日常のちよつとしたものに魅力を感じるので、地方の良さを伝えていきたいと思って、今地域で活動をしています。東京は便利だけれどいつもせかせかして気が休まらない感じがあるので、穏やかに流れる時間がほしいなど。地域としてはいろんな課題も抱えているので悲観的な人も多いんですけど、地域としての魅力もあるし、希望もあるから、そういうところを地域に住んでいる人に伝えて、もっとみんなが誇りとか、愛着とかを持るといいなと思っています。

大学生② 祖父母が東京の

割と田舎に住んでいたの、地方の魅力を目にして、それを残していきたい、自分の原体験の中の風景を残していきたい気持ちがありました。あちこち地方を訪問するうちに、そこに住むおじさん方にかわいがってもらっている地域があった、そこなら住んでもいいかなっていう気もするの、で「どれだけその人に受け入れてもらえたか」みたいなことがあるのかな。自分らしく生きるには、どこにいてもいいんだけど、決め手になるのは「そこでどれだけ受け入れてもらえたか」なのかな。

高校生① 祖父が田んぼをやっている、稲刈りの手伝いとか、意外と楽しくて。お米も好きだし。東京や仙台も楽しいと思うけれど、秋田に住んでいて楽しいと感じます。お父さんが県外出身なんですけど、「秋田の夏が好きだな」って言うんです。それを聞くと、いいなって。お米の袋を結ぶのを手伝ったり、小さいころにおじいちゃんに稲刈り機

に乗せてもらったり。中学校の頃の授業で、秋田県と県外を比べて発表するというのがあって、友達は「秋田は本当に何も無いから早く県外に行きたい」っていう人も。その気持ちもわかります。できれば進学先は家から通える距離がいいなと思っているけど、専門学校となると県外の方が種類もあるし。

ファシリテーター 私も大学に進学したときに秋田から一度出ていて、東京で就職したので「帰らないだろうな」って思っていました。東京も楽しかったし、いい場所もありました。でも帰ってきてから同じくらい、いい人間関係や場所を知れたので、その場所の自然や食事のことに気づけること、自分がそれを受け入れていること、そして自分も受け入れてもらっていることが大きいおかげかな。

大学生① 私は地元に戻りたいなという思いがなんとなくありますが、今のお話を聞いて、今住んでいる東京も悪いことばかりじゃな

いので、好きになれる部分のみつけて、受け入れられるところを受け入れていきたいと思いました。知らない地域に入った時に「また戻ってこれそうだな」って思ったり、「受け入れてもらえてるな」って感じられるように、地域を知る努力をすれば居場所が増えていくのかな。

グループ ③

ファシリテーター 高校の授業で、自分らしさや地域を調べる時間はありますか？

高校生① 能代高校には興味のある分野の職業を調べたり、人口減少についてどうするか考えたり、1年はグループで、2年は個人で調べて発表する機会があります。

大学生① 中学校のときは地元を調べるといって授業もありましたが、高校は地元の方と関わる機会はなかったかも。

ファシリテーター そもそも自分らしくってなんだろう

大学生① 自分らしさって、決まっているものではなくて、いろいろ挑戦したり人と関わったりする中で、自分の価値観は変わっていくものだからこそ挑戦できる環境があることが重要だと思っています。

ファシリテーター 挑戦できる環境ということは変化していけるということ。変化をあまり好まない地域もあります。「それできるの？」とか「田舎だから無理じゃない？」とか。「女だから」「男だから」とか。そういう発言が挑戦できない環境になってしまうのかな。

大学生① 体験格差もあるかもしれない。私自身は恵まれた環境にあると感じています。中学受験をさせてもらえたおかげで、高校でいろんな体験ができました。私は自分らしく生きられていてと思います。今は同じ大学の3人で能代に来て古民家で共同生活をしていて、私自身、結構ふざけるタイプなんですけど、みんな

な笑ってくれて、ノってくれて、自分を受け入れてくれていて感じます。自分らしくいられるには、やりたいことを我慢しなくていい環境が必要だと思います。

高校生① 部活はみんな中学校が違う人が集まって、みんな仲良くできてすごく楽しい。大館市とか秋田市とか、県外もいます。体操部だったら宮城県や東京からも。今の自分が、自分らしくいられるためには、気軽に、気まずくない、なんでも言える友人が大事だと思います。

ファシリテーター やりたいことがやれて、しゃべりたいことがしゃべれる。それが大事ですね。言いたいことが言えないって窮屈だから。自分らしく生きられる地域というのはそれぞれの人が思っていることを、互いに受け止められる地域のことなのかなと感じました。いろんな支援が必要だとは思いますが、一番は個人の意識なんだと強く思いました。